

# あおぞら



創立時  
(昭和54年)



現在

## 医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療  
【Humanism】
2. 高度医療の提供  
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての  
人間的成長 【High Growth】

## 目次

心臓血管外科部長就任のご挨拶	2
連携病院のご紹介	3
病院開設 40 周年	4
光晴会病院の歩み	6
地域医療連携室・心電図室の場所が移動しました	8
聖母行列	8
新人歓迎会	8
NEW FACE	8

医療法人

# 心臓血管外科部長 就任のご挨拶

心臓血管外科

古賀 秀剛



この度、前任の蒲原啓司先生の後を継ぎまして、光晴会病院 心臓血管外科部長を拝命しました古賀秀剛と申します。光晴会病院 心臓血管外科は1996年に須田久雄先生のもとで開局し、その後は末永悦郎先生、前任の蒲原啓司先生により1900例を超える開心術を行い、長崎市北部からその近郊地域の心臓血管外科診療に尽力されました。私は2015年より当科で蒲原先生とともに診療を行っていましたがこの度、重要な役割を受け継ぐこととなりまして、大変な名誉であるとともに大きなプレッシャーでもあり、本当に身の引き締まる思いです。とくに我々の診療科は急性疾患が多く、緊急での処置や手術が必要となるため、今まで以上に近隣の医療機関からのご紹介や救急要請につきましては、微力ながら迅速にかつ真摯に対応させていただく所存です。

また心臓血管外科診療におきましては、体にやさしい低侵襲手術、とくに胸部または腹部大動脈瘤に対して低侵襲手術を行っております。胸部または腹部大動脈瘤に対しては従来、開腹や開胸による人工血管置換が行われておりましたが、動脈瘤の形、場所によっては開胸や開腹を必要としないステントグラフト手術を選択しております。とくに高齢者や併存疾患等で従来の外科手術が困難な症例にもステントグラフト手術で治療が可能な場合があり、個々の症例について患者様に最適な治療の提供に精進致す所存です。このような診療を継続していくことで、地域の方々に今までと同じ、またそれ以上に信頼していただければと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

連携病院のご紹介

# 道ノ尾みやた整形外科



## 「みんなが笑顔になれるクリニック」

平成30年12月13日に光晴会病院の裏、道ノ尾駅となりに「道ノ尾みやた整形外科」を開院しました宮田倫明と申します。生まれは長崎市で、城山小学校、附属中学校、長崎西高、琉球大学を卒業し、平成8年に長崎大学整形外科に入局しました。整形外科専門医として23年間の間に外傷による骨折、脊椎手術、人工関節手術、膝関節の変形矯正手術、関節鏡下手術など3000件を超える手術を執刀してきました。長崎大学では特に骨軟部腫瘍を専門として癌の骨転移、骨肉腫のような悪性骨腫瘍、軟部組織悪性腫瘍などの難治性疾患に対する手術を担当していました。また、終末期医療に携わり常に患者さんに寄り添い献身的に治療を行って参りました。

近年、高齢化が進み骨粗鬆症に伴う骨折や、変性疾患による慢性疼痛の患者は年々増加しています。現在の超高齢化社会における最大の課題は健康寿命の延伸と言われています。寝たきり予防のためには治療が重要であることはもちろんですが、予防が

最も重要です。寝たきり予備軍を早期に見つけ、治療とリハビリを行うことで健康寿命を伸ばすお手伝ができればと思っています。

当院は以下の4点を特徴としています。①**最新型オープンMRI**:X線と比べて細かい病変も見逃しません ②**骨粗鬆症検査**:DEXA法を用い正確な骨密度測定を行います ③**運動器リハビリテーション**:200㎡を超える開放感のある空間でリハビリができます ④**広い駐車場**:屋根付きですので雨の日でも安心して来院できます

当院がオープンして現在までに、光晴会病院からは既に多くの患者様をご紹介いただき感謝の気持ちでいっぱいです。今後も光晴会病院と密に連携し、患者さまのお役に立てれば何よりと思っています。「あの病院に行けば大丈夫」と思えるような安心感があり、みんなが笑顔になれるようなクリニックにしていきたいと考えていますので何卒よろしくお願い申し上げます。

整形外科

リハビリテーション科



## 道ノ尾みやた整形外科

MICHINOO MIYATA ORTHOPAEDIC CLINIC

〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷8番地2

TEL 095-856-0001 FAX 095-856-0008

URL <http://mmoc.bona.jp/>

### 診療時間

平日 9:00~12:30 14:30~18:00

土・木曜 9:00~12:30

※午前の部の受付時間は12:00までとさせていただきます。



# 40<sup>th</sup> ANNIVERSARY



## 病院開設

病院開設40周年となる2019年は、より公益性が高く事業承継問題を解消した特定医療法人へ4月1日付けで移行し、また元号も変わるという記念の年になりました。当院は昭和54年6月病床数103床、職員82名、医師数4名で開設しましたが、現在は職員数約4倍強の陣容へと著増しています。私が当院へ最初に短期勤務しましたのが医師になって8年目の昭和58年、その3年後の昭和61年より再度勤務となり現在にいたっています。昭和63年の北棟増設など、入職当時の本院は診療科の新設や建物の増設が続いており、病院自体が若々しい飛躍の時代でした。この間には病院の運営の中心でもあった方々が急逝されるという悲しい出来事もありましたが、これまで勤務していただきました多くの先生方や職員の皆様の努力と働きにより、本院は急性期病院としての機能を築き発展させてきました。病院を支えていただきました医療機関や施設、地域の皆様、また関係者の方々には深く感謝いたします。様々な出来事を乗り越え成長してきた当院ですが、今後も第一線の病院として機能していく為の重要な課題としては地域連携、情報提供の推進などがあります。この一環として、2005年より「あおぞら」を発刊いたしました。今回が創刊より51号という新しい一歩となりました。現在では全ての病気を一医療機関内で完結することは困難であり、地域の中で機能分担と連携を強化し、地域完結型として機能し連携していく事が重要だと考えられます。南棟増設、北棟新設、新棟新設と南棟耐震化など四期にわたる工事を経





# 40周年

て、現在はハード面では一段落していますが、現状維持は退化と同義語とさえ言われるこの時代では、立ち止まることなく各部門で変革していく事が常に求められています。人間だけではなく病院という組織にも新陳代謝が必要です。病院が開設した頃と比較しますと、医療は高度化し、仕事量やリスクは何倍にもなっていると考えられます。人口減、少子高齢化、財政問題などから医療の転換点と言われる2025年は先の話ではありません。約7年前にIT技術者達が予想したAIが医療支援に関わる時代はすでに始まっており、10年先の病院像の変化は、この過去数年の著しい変化を考えると私には明確には描くことはできません。ハード・ソフト共に医療技術は更に進歩し、遺伝子治療等による病気の完治率向上や医療安全、働き方改革などを目的に診療や看護へのロボット導入やAIによる診断・治療方針への介入などが一般的になり医療現場は様変わりしている可能性が高いと考えられます。しかし変革が進んでも、医療の原点は当院の開設者の方々が考えられた当院の基本理念の一つである「ヒューマニズム、人に対する優しさ」であり、人が深く関わり、人に向き合う事が大切だと思います。「人は人に生かされ、人は人の為に生きる」という言葉があります。職員一同協力し、医療の原点と言える病院の基本理念を胸に刻み、地域に愛される病院として更に発展して行って欲しいと考えています。

理事 岸川 博紀



# 光晴会病院の歩み

昭和48年12月

人工腎臓センター高木医院 開設

昭和53年 1月

医療法人光晴会 高木医院と名称変更



昭和53年の葉山

昭和54年 6月

第1期工事完成  
内科・循環器科・消化器科・人工透析センター 103床でオープン  
医療法人 光晴会病院と名称変更

昭和56年 8月

外科新設

昭和57年 8月

第2期工事完成 180床に増床



新館（北棟）

昭和60年 4月

泌尿器科新設

昭和62年 6月

人間ドック開始

9月

リハビリテーション開設

昭和63年 9月

第3期工事完成し、新館（北棟）使用開始  
健診センター、腎・透析センター、  
循環器センター（CCUを含む）・アリーナ等新設  
194床に増床（一般 189床、健診 5床）



平成2年に行われた幻の大運動会

平成 8年 2月

心臓血管外科新設

平成13年 8月

救急病院認定（救急告示病院）

平成15年 7月

院内を全館禁煙とする

平成18年 4月

糖尿病センター新設  
地域医療連携室・医療福祉相談室・  
診療情報管理室・安全管理室を開設



ICU

平成19年 2月

特定集中治療室 (ICU) の拡充、移設  
財団法人 日本医療機能評価機構ver.5認定

4月

平成20年 1月

オーダリングシステム稼働  
出資限度額医療法人へ移行

4月

平成21年 2月

あじさいネット運用開始  
DPC導入

4月

平成23年 4月

新館建設、南棟耐震工事開始

平成24年 7月

新館完成・南棟改修工事終了



平成25年10月

北棟2階糖尿病センター専門外来開始  
電子カルテ導入

12月

病院裏 大井出川にひかり橋完成



平成27年11月

下肢静脈瘤治療外来開始  
透析室 54床に増床

平成28年 5月

おなかのヘルニア (脱腸) 専門外来開始  
地域包括ケア病床開設

10月

特定集中治療室 (ICU) を高度治療室 (HCU) へ変更

平成29年 9月

X線CT装置更新 (320列マルチスライス)

平成30年 8月

デイリーヤマザキ 光晴会病院店 開店



平成31年 4月

特定医療法人へ移行

# 地域医療連携室・心電図室の場所が移動しました

地域医療連携室と心電図室の場所が移動しています。

地域医療連携室は正面玄関近く、採血室の隣に

心電図室は外来受付の裏側、レントゲン受付前になっています。

分からない場合は、お近くの職員にお声かけ下さい。



## 聖母行列



2019年5月29日(水) 百合幼稚園の園児さんたちが『聖母行列』で当院を訪問してくださいました。カトリック教会では5月は聖母マリアをたたえる「聖母月」と呼ばれるそうで、『聖母行列』では、年長組の園児さんたちが、平和を祈り世界中の人々が安心して日々を過ごすことができるよう、聖母像を載せた神輿を担いで院内を巡ってくれました。病室で今か今かと待っている患者さんに、子どもたちのやさしい声掛けや歌のプレゼントがあり、「はやくよくなってくださいね」と微笑む姿に、手を合わせて涙する患者さんもうらっしゃいました。当院職員の子供さんも多数参加しており、お母さんの顔に戻って見守っていました。子供たちの明るい笑顔に元気を頂いた一日でした。

## 新人歓迎会

5月10日、長崎ロイヤルチェスターホテルにて新人歓迎会が執り行われました。

今年度、当院は23名の新入職員を迎える事となりました。

一日も早く職場環境に慣れ、院内に新しい風を吹かせてくれることを期待しています。

①河野 政紀(こうの まさき)

②循環器内科 ③医師

④長崎 ⑤マラソン

⑥患者さんと同じ歩幅で共に考え、より良い医療を提供致します。

長崎市北部の心臓の拠点病院ですので、一生懸命お役に立てるよう頑張ります。

**NEW FACE**  
医師

①氏名 ②所属 ③職種  
④出身地 ⑤趣味 ⑥抱負(自己PR)



(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：岩永(地域医療連携室) 平尾(クラーク課)

尾上(医事課) 赤間(南4階)

佐藤(南5階) 吉野(臨床検査科)

医療法人 **光晴会病院**

〒852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

<http://www.kouseikai.org/>